

# エゾウグイ

*Leuciscus(Tribolodon) ezoe*

コイ科



エゾウグイ

## 名前の由来

えぞ（蝦夷：北海道の古名）のウグイ。「ウグイ」に関しては「いぐい」・「うつぐい」・「海鯉」の転じたものとか、「浮く魚」あるいは「ウが食う魚」の意などの説がある。学名の「ezoe」も「蝦夷の」の意。漢字名：蝦夷石斑魚

## 特定種

北海道レッドデータ…留意種 (N)

## 形態的特徴

全長25cm。尻ビレの後縁は円いかわずかに外湾する。背ビレ前部のうろこは多くのものが38枚以上ある。吻（鼻先）が上顎前端より前に突き出る。産卵期には頭部側面から体側、尾柄にかけて黒い縦条がある。

らわれる。赤色部は上あご後端から鰓蓋前骨までの部分と、胸ビレ基底の内側、腹ビレ基底の内側、尻ビレ基底だけ。

## 類似種と見分け方

ウグイ、マルタウグイ。

マルタウグイは、成熟魚繁殖期の黒色帯がなく、幼魚は尾ビレ基部三角形の暗色斑がある。

ウグイとエゾウグイは、成熟魚繁殖期の黒色帯があり、幼魚は尾ビレ基部に三角形の暗色斑がない。またエゾウグイは、産卵期の追星がオスでも小さく、メスには現れないが、ウグイでは明確に現れる。

エゾウグイのメスの成魚は吻（鼻先）が上顎前端より前に突き出るが、ウグイの吻は上顎前端より前に出ない。また、うきぶくろの末端部がウグイでは針のようにとがっている

のに対して、マルタウグイではとがった部分が短く、エゾウグイではとがらず丸くなっている。



エゾウグイ。吻が上あご前端より前に突き出ている

## 生活サイクル

|     | 1月        | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月      | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
|-----|-----------|----|----|----|----|---------|----|----|----|-----|-----|-----|
| 産卵期 |           |    |    |    |    | ■       |    |    |    |     |     |     |
| 孵化期 |           |    |    |    |    | ■       |    |    |    |     |     |     |
| 幼魚期 | ■ 成熟年数は不明 |    |    |    |    |         |    |    |    |     |     |     |
| 成魚期 | ■         |    |    |    |    | ■       |    |    |    |     |     |     |
|     | ■         |    |    |    |    | ■ 産卵    |    |    |    |     |     |     |
|     | ■         |    |    |    |    | ■ 10年前後 |    |    |    |     |     |     |

## 一 生

産卵期は6～7月。産卵場所は水深20～70cmの砂礫底で、ウグイに比べてやや流れが緩いところを選ぶ。オスは体長9cm、メスは体長12cmくらいで成熟するという

が、成熟年齢は不明。海には下らない。寿命は10年前後であるという。

## 生息環境・分布

どちらかと言えば急流を避け、下流・中流のゆるやかな瀬や淵に多く、底層近くを泳ぐ。ウグイが降海型があるのに対し、エゾウグイは海には下らない。

**分布：**サハリンからシャンター島（サハリン北端の西にある）くらいまで分布。（朝鮮半島には分布しない）

国内では、北海道のほぼ全域に見られる。青森、秋田、岩

手、福島などにもわずかに分布。

十勝の河川に広く分布する。下流域から中流域まで生息し、ウグイと同所的に生息する。

## 食 性

雑食性（底層で餌をとることが多い）。

## 繁殖生態

産卵期は6～7月。産卵場所は水深20～70cmの砂礫底で、ウグイに比べてやや流れが緩いところを選ぶ。

1尾のメスを多くのオスが追って産卵するのはウグイと同

様である。卵径は大きくても1.5mmほどだという。水温15℃で5日、水温10℃で13日でふ化。

## 他生物との関わり

魚食性の動物の餌となると思われる。

## 興味深い話

■ウグイと酷似しており、同定が困難であるが、解剖してみるとウグイの浮き袋の先端が鋭く細くなるのに対し、エゾウグイは丸みを帯び先端がわずかにとがる。この2種は明かに別種であるが、同じ場所で捕獲されることが多い。

■ウグイと酷似した仲間にはマルタウグイがあるが、マルタウグイはエゾウグイとは逆にすべてが海に下るといわれてきた。ただ最近では陸封個体もかくにんされているという（妹尾優二）。

■産卵はウグイが早く、ついでマルタウグイ、エゾウグイの順に産卵するが、最近では河川環境の変化によって水温が変化し、同時に産卵するところもある。他の種との交雑は少ないが、可能である。

## 配慮事項

仔魚期（ふ化後すべてのヒレの条《スジ》の数が成魚と同じになるまで）は岸際の浅い水たまりや淵の大きな石陰に

生息するため、このような流れが穏やかな場所が必要。

魚類

底生動物

両生類  
爬虫類

トンボ

チョウ

樹木

（在来種）  
草花

（外来種）  
草花

哺乳類

（水辺）  
鳥類

（葦原・タカ）  
鳥類  
樹林

### 参考文献

「山溪カラー名鑑 日本の淡水魚」川那部浩哉・水野信彦 編・監修、山と溪谷社 1989

「川の生物図典」奥田重俊・柴田敏隆・島谷幸広・水野信彦・矢島稔・山岸哲 監修、(財)リバーフロント整備センター編集、山海堂、1996

「検索入門 川と湖の魚①」川那部浩哉・水野信彦 保育社 1990

「川づくりのための魚類ガイド」北海道河川環境研究会 (財)北海道建設技術センター 2001

「日本動物大百科 第6巻 魚類」日高敏隆 監修、平凡社、1998

★ 妹尾優二：(株)エコテック、流域生態研究所